

録音ラジオ

PRR-200

このたびは本品をお買い上げ
いただきまして、誠にありがと
うございました。

- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必要なときにすぐに取り出せるように大切に保管してください。

保証書付

保証書に、お買い上げ日、販売店名などが
記入されていることをご確認ください。



目次

安全上のご注意	1	再生する	13
各部の名称	3	オートオフ機能	15
microSDカードについて	5	ファイル削除	15
本機の特徴	6	お好みボタン	16
知っておきたいこと	6	リピート機能	16
お使いになる前に	7	故障かな?と思ったとき	17
ラジオを聞く	9	主な仕様	18
録音する	10	保証書	19


株式会社 太知ホールディングス
TAICHI HOLDINGS LIMITED


<http://www.taichi-holdings.com>


〒110-0005 東京都台東区上野3丁目2番4号秋葉原村上ビル3階
お問い合わせ先：電話03-5846-7211 FAX 03-5846-6639


安全上のご注意


製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。


 **警告** この表示を無視して、誤った取扱をすると、人は死亡または重傷を負う原因となります。


 ●本体を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

 ●水につけたり水をかけないでください。また水洗いや浴室での使用は絶対に避け、湿気の多いところには保管しないでください。ショート、感電のおそれがあります。

 ●屋外で使用中に雷が鳴り始めたらずく使用を中止し、機器をかばうなどにしてください。感電のおそれがあります。


 ●乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより火災、ケガのおそれがあります。(繰り返し充電して使用する二次電池は除く。)

 **注意** この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やそのほかの事故によりケガをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

 ●窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え火災の原因になることはあります。

 ●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●イヤホン使用時、耳を刺激するような大きな音量で長時間聞き続けると、聴力障害の原因となります。

 ●電池を機器内に挿入する場合、プラスとマイナスの向きに注意し表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れによる機器の故障、周囲の汚損、火災の原因となることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

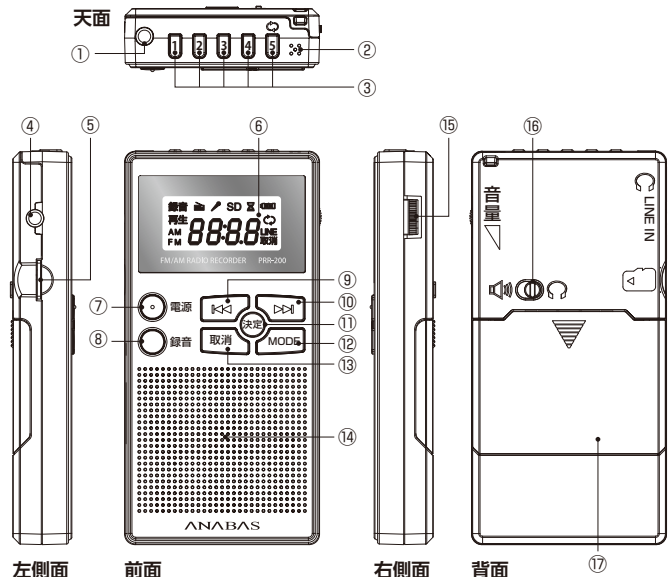
警告

- 火中への投入、加熱、分解をしないでください。
- 乾電池を幼児に触らせないでください。
- ショートさせないでください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、種類の異なる乾電池(マンガンとアルカリ)を混ぜて使わないでください。

注意

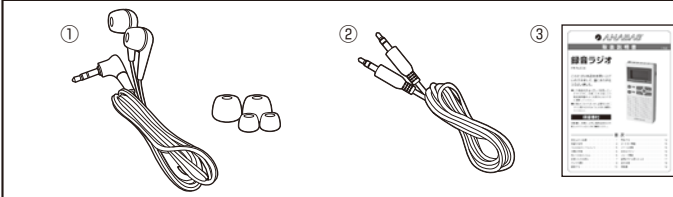
- ⊕⊖の表示通りに入れてください。
 - 指定以外の乾電池を使わないでください。
 - 使い切った乾電池はすぐに取り出してください。
 - しばらく使わないときは、乾電池を取り外しておいてください。
-
- 万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
 - 万一お子様が乾電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
 - 万一もれた液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。失明の原因となります。
 - 使用済みの電池を廃棄するとき、自治体の条例などで決まりがある場合は、それに従ってください。

各部の名称



- ①イヤホン端子
- ②録音用マイク
- ③お好みボタン(【5】はリピートボタン兼用)
- ④LINE接続端子
- ⑤microSD挿入スロット
- ⑥LCD表示画面
- ⑦電源ボタン
- ⑧録音ボタン
- ⑨スキップ/サーチボタン(◀◀)
- ⑩スキップ/サーチボタン(▶▶)
- ⑪決定ボタン
- ⑫MODEボタン
- ⑬取消ボタン
- ⑭スピーカー
- ⑮音量ダイヤル
- ⑯スピーカー/イヤホン切り替えスイッチ
- ⑰電池ふた

付属品



- ①ステレオイヤホン(アンテナ兼用)
および交換用イヤピース(Sサイズ・Lサイズ)
- ②ステレオミニプラグケーブル1.2m(LINE録音用)
- ③取扱説明書

microSDカードについて

本機では録音先はmicroSDカード(別売り)に記録し再生します。また他の機器で記録されたmicroSDカードを再生することができます。再生可能な条件は18頁の主な仕様をご確認願います。使用可能なmicroSDカードはSDHC 4GB～32GBです。付属されていませんので、お買い求め願います。

- ・  はSD-3C、LLCの商標です。

microSDカード取り扱いについて

- ・ 録音／再生中はmicroSDカードの抜き差しはしないでください。故障の原因になります。
- ・ 対応仕様のmicroSDカードであっても、すべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- ・ 映像ファイルなどが混在されたmicroSDカードを使って、本機で録音しても正しく認識しない場合があります。
- ・ 電池持続時間はmicroSDカードのメーカーや種類によって異なります。
- ・ 大切なデータはバックアップを取っておくことをおすすめします。データの破損(消滅)について、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。

本機の特徴

- ①ワイドFM(FM補完局)に対応しています。
※ワイドFM(FM補完局)とは：AM放送局の放送エリアにおいて、難聴対策や災害対策のために従来のFM放送用の周波数(76MHz～90MHz)に加えて、新たに割当てられた周波数(90.1MHz～95MHz)を用いてAM番組を放送することです。
- ②放送局の受信周波数をワンタッチで自動登録できます。
- ③内蔵マイクで録音ができます。会議等の録音に便利です。
- ④他の機器からデータを取り込み、オーディオプレーヤーとして利用できます。
- ⑤オートオフ設定ができます。
30分、60分、90分、120分、OFF(設定しない)の5段階です。
電源切れの無駄な電池消費を防ぎます。ECOな機能です。
- ⑥お好みボタン(5局)の設定ができます。
日頃聞く放送局(受信周波数)を登録して置けば便利です。
- ⑦リピート(🔄)機能付です。音楽や語学を繰り返し聞きたい時に便利です。
- ⑧液晶のピクト(絵文字)を選択して操作する、記憶に頼らない優しい操作です。

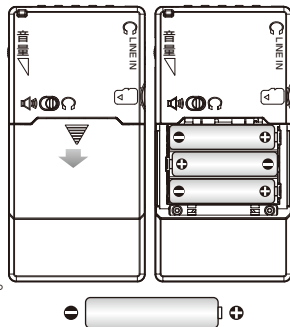
知っておきたいこと

- ①ポケットラジオはイヤホンで聞くことをお勧めします。特にFM放送は臨場感溢れる音質が得られます。(ステレオで聞くことができます。)
- ②FM放送をスピーカーで聞くと、臨場感溢れる音質は得られません。また、必要以上に音量を上げるため、電池寿命はイヤホンで聞く時の半分以下になることがあります。音量を上げると比例して電池消費が増え、電池寿命が短くなります。
- ③電源を切り忘れると一晩で電池容量が無くなる場合があります。
- ④オートオフ設定が便利です。60分程度に設定して置くと安心です。オートオフ設定をして置くことをお勧めします。
- ⑤乾電池はマンガン電池より、アルカリ電池の方が長持ちします。特に録音時はアルカリ電池が必須です。電池容量の余裕が無いと録音中に停止することがあります。

お使いになる前に

乾電池の入れ方

- ①電池ふたの▽部を押しながら矢印の方向にスライドさせて、電池ふたを開けます。
- ②単4形乾電池3本を⊕と⊖に注意しながら、右図の通りセットします。
※乾電池は付属していません。別途お買い求めください。
- ③電池ふたを下から上にスライドさせながら押し込みます。カチッと音がして下側と本体の段差がなくなれば完了です。
※スライドさせず、真上から無理に電池ふたを押さえると、下側の爪が破損します。
- ④繰り返し使用できる二次電池も使用できます。
例：eneloopニッケル水素電池など



●乾電池ピクトの表示について(電池の種類、生産国などで違いがあります。目安としてください。)

- 【電池ピクト】非表示：電池容量が十分ある場合は電池ピクトは表示しません。
- 【電池ピクト】長時間録音する場合は念のため、新しい電池に交換してください。
- 【電池ピクト】電池容量が少なくなっています。ラジオを聞く場合はしばらく問題ありません。
- 【電池ピクト】ピクトが点滅：早めに新しい電池に交換してください。

【MODE】ボタンの切り替えについて



【LCD画面ピクト表示説明】

- ラジオ
- オートオフ
- マイク
- 乾電池残量
- SD microSDカード
- リピート

microSDカード装着時、【MODE】ボタンを押す度にLCD表示が下記の順で入れ替わり点灯します。

【AM】→【FM】→【再生/SD】→【再生/マイク】→【再生/マイク】→【LINE】→【再生/LINE】

※SDカードを装着していない時にはラジオしか機能しません。【AM】と【FM】のラジオが交互に点灯します。

基本操作

電源

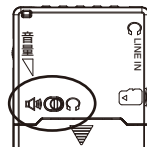
- ①【電源】ボタンを2秒長押しします。
- ②液晶のバックライトが点灯し、中央に【05】が表示され、05-04-03…とカウントダウンが始まります。
- ③【00】が表示されると、前回電源を切る前に操作したモードが表示されます。(ラストメモリー機能)
- ④電源を切る時は【電源】ボタンを押します。一瞬バックライトが点灯し、表示が消えます。何も表示されなくなればOFF状態です。

音量

- ①右側面の【音量】ダイヤルを回します。上側へ回すと大きくなります。
- ②調節中、LCD画面に音量レベル【U 00~U 32】が表示されます。

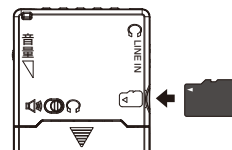
イヤホンと内蔵スピーカーの切り替え

背面の【スピーカー】と【イヤホン】の切り替えスイッチで設定します。
乾電池が長持ちするイヤホンでお聞きすることをお勧めします。



microSDカードの出し入れ

- ①電源を切ります。
- ②背面のmicroSDカード刻印が右になるように持ちます。
- ③本機の刻印とmicroSDカードの向きが同じであることを確認し、水平にカチッと音がするまで挿入します。
- ④出す時は、わずかに見えるmicroSDカードの先を指で押し込みます。カチッと音がしてロックが外れ、microSDカードが取り出せます。
※microSDカードの端子(光っている箇所)に触らないでください。静電気等で破損する恐れがあります。



ラジオを聞く

microSDカードが入っていない時は、ラジオモード(AM/FM)のみが機能します。

放送局(受信周波数)を登録する(AM/FM共通)

1. 放送局(受信周波数)を自動登録する

- ①【電源】ボタンを押して電源を入れます。
- ②アンテナの役目となるイヤホンを天面の「イヤホン」端子に接続します。
※カチッと音がするまで挿入してください。
- ③【MODE】ボタンを、FMの場合は【FM】、AMの場合は【AM】が選択されるまでゆっくり押します。
- ④【決定】ボタンを長押しすると、放送局(受信周波数)を自動で登録します。LCD画面の数値が早早く変化し、止まれば自動登録が完了です。自動登録時、周波数の低い方から【ch01】、【ch02】、【ch03】…とチャンネル番号が付与されます。
- ⑤登録後、選局する場合は【◀◀】または【▶▶】ボタンを長押しします。押す度にチャンネル番号と受信周波数が表示されます。
※2秒以上の長押しをしてください。長く押すと必ずチャンネル番号の後に登録番号が表示されます。短いチャンネル番号(【ch01】等)が表示されず手動登録手順になりますので注意してください。



2. 放送局(受信周波数)を手動で登録する

受信環境(受信電波が弱いなど)で自動登録されない場合は、次の手順で手動で登録してください。

- ①登録する周波数に近い、自動登録された受信周波数を選択します。
- ②【◀◀】または【▶▶】ボタンを短押しすると周波数が変化します。1回押すごとに、FMは0.1MHz、AMは9kHz変化します。
- ③放送が受信できていることを確認後、天面のお好みボタン【1】～【5】のいずれかを長押しして登録します。(16頁のお好みボタン参照)
- ④次回以降、お好みボタンを押すことで、手動設定した放送局を聞くことができます。
※追加したい放送局(受信周波数)は、新聞等(ラジオ番組欄)でお調べください。

録音する

オートオフ【☒】設定していても録音が優先されます。
録音が終わり次第オートオフは機能します。

microSDカードが入っていない時は、ラジオモード(AM/FM)のみが機能します。

ラジオ放送を録音する

- ①「ラジオを聞く」を参照に、ラジオ放送を受信してください。(9頁参照)
- ②【録音】ボタンを押すと、LCD画面の【録音】表示が点滅し、録音が始まります。
- ③録音中はLCD画面の【録音】表示が点滅し、録音時間が表示されます。
- ④【取消】ボタンを押すと録音が停止され、ラジオ受信状態に戻ります。
※録音の一時停止はできません。



内蔵マイクで録音する

- ①【マイク】が選択されるまで【MODE】ボタンをゆっくり押します。
- ②【録音】ボタンを押すと、LCD画面の【録音】表示が点滅し、録音が始まります。
- ③録音中はLCD画面の【録音】表示が点滅し、録音時間が表示されます。
- ④【取消】ボタンを押すと録音が停止され、録音前の状態に戻ります。
※録音の一時停止はできません。



録音する(つづき)

オートオフ [X] 設定していても録音が優先されます。録音が終わり次第オートオフは

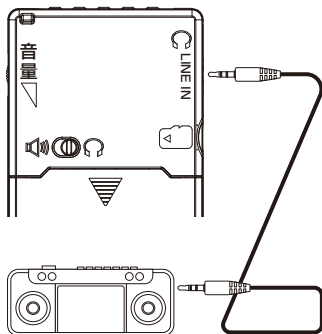
機能します。

録音する時は、必ずmicroSDカードを入れてください。(8頁のmicroSDの出し

入れ参照)

他の機器から音楽等を本機のmicroSDカードに転送する

- ①電源を切り、microSDカードをスロットに挿入した後、電源を入れます。
- ②付属のΦ3.5オーディオケーブル(1.2m)で転送元のイヤホン端子(またはAUX端子)と本体側面の【LINE IN】端子を接続します。
※Φ3.5オーディオケーブル端子は「LINE IN」端子にカチッと音がするまで挿入してください。
- ③【LINE】が選択されるまで【MODE】ボタンをゆっくり押します。
- ④転送元の音源を再生させて、本機の【録音】ボタンを押すと転送が開始されます。転送中はLCD画面の【録音】表示が点滅し、録音時間が表示されます。
- ⑤転送が終了したら、本機の【取消】ボタンを押して転送を停止してください。転送元の電源を切り、Φ3.5オーディオケーブルを取り外します。
※イヤホンで確認しながら転送することもできます。
- ⑥転送された音楽等を確認する場合は14頁の他の機器で録音したSDカードを再生するを参照してください。



本機はMP3(音声圧縮技術及び音楽ファイルフォーマット)のみ対応しています。18頁の主な仕様に記載されているスペック等が適合しているか確認してください。

録音時のご注意

録音中にmicroSDカードが次の状態になると録音を停止し、LCD画面の【録音】が消えます。なお、消えるまではmicroSDカードに記録されます。

- ①microSDカードの書き込み容量が一杯になって、これ以上書き込みができない場合。
- ②microSDカードの一部に不具合がある場合。
- ③乾電池に録音できる容量が無い場合。

このような場合はmicroSDカードや乾電池を交換して確認してください。

再生する

再生する時は、必ず音源の入ったmicroSDカードを入れてください。(8頁のmicro

SDの出し入れ参照)

ラジオを再生する

- ①【再生/📻】が選択されるまで【MODE】ボタンをゆっくり押します。
- ②LCD画面に録音されたファイル数が表示されます。(001~999)
- ③【決定】ボタンを押すと、一番新しいファイルが再生され、LCD画面に録音時間が表示されます。他のファイルを再生したい時は、【◀◀】または【▶▶】ボタンを短く押して番号を選択してください。間もなくそのファイルが再生されます。
- ④再生中に【◀◀】または【▶▶】ボタンを長押しすると早送りになります。離すと早送りが解除されます。
- ⑤再生中に【決定】ボタンを押すと一時停止になります。再度押すと一時停止が解除されます。
- ⑥【MODE】ボタンを押すと再生が停止されます。



内蔵マイク録音を再生する

- ①【再生/🎤】が選択されるまで【MODE】ボタンをゆっくり押します。
- ②LCD画面に録音されたファイル数が表示されます。(001~999)
- ③【決定】ボタンを押すと、一番新しいファイルが再生され、LCD画面に録音時間が表示されます。他のファイルを再生したい時は、【◀◀】または【▶▶】ボタンを短く押して番号を選択してください。間もなくそのファイルが再生されます。
- ④再生中に【◀◀】または【▶▶】ボタンを長押しすると早送りになります。離すと早送りが解除されます。
- ⑤再生中に【決定】ボタンを押すと一時停止になります。再度押すと一時停止が解除されます。
- ⑥【MODE】ボタンを押すと再生が停止されます。



LINEで録音したmicroSDカードを再生する

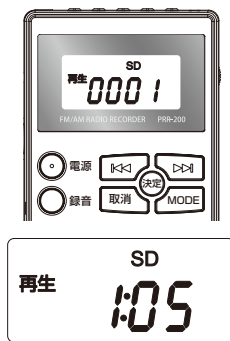
※【LINE IN】端子にケーブルが接続されていないことを確認してください。

- ①【再生/LINE】が選択されるまで【MODE】ボタンをゆっくり押します。
- ②LCD画面に録音されたファイル数が表示されます。(0001~9999)
- ③【決定】ボタンを押すと、一番新しいファイルが再生され、LCD画面に録音時間が表示されます。他のファイルを再生したい時は、【◀◀】または【▶▶】ボタンを短く押して番号を選択してください。間もなくそのファイルが再生されます。
- ④再生中に【◀◀】または【▶▶】ボタンを長押しすると早送りになります。離すと早送りが解除されます。
- ⑤再生中に【決定】ボタンを押すと一時停止になります。再度押すと一時停止が解除されます。
- ⑥【MODE】ボタンを押すと再生が停止されます。



他の機器で録音したmicroSDカードを再生する

- ①【再生/SD】が選択されるまで【MODE】ボタンをゆっくり押します。
- ②LCD画面に録音されたファイル数が表示されます。(0001~9999)
- ③【決定】ボタンを押すと、一番新しいファイルが再生され、LCD画面に録音時間が表示されます。他のファイルを再生したい時は、【◀◀】または【▶▶】ボタンを短く押して番号を選択してください。間もなくそのファイルが再生されます。
- ④再生中に【◀◀】または【▶▶】ボタンを長押しすると早送りになります。離すと早送りが解除されます。
- ⑤再生中に【決定】ボタンを押すと一時停止になります。再度押すと一時停止が解除されます。
- ⑥【MODE】ボタンを押すと再生が停止されます。



再生する(つづき)

録音および再生時の表示について

録音時間および再生時間【00:00】は次のように表示されます。

- ① **1時間未満の場合**：最初の2桁00が分を、後の2桁00が秒を表示します。
例：【03:40】は3分40秒を表します。(最初の59:59まで)
- ② **1時間を超える場合**：最初の2桁00が時間を、後の2桁00が分を表示します。
例：【03:40】は3時間40分を表します。
※1時間を超えると秒単位の表示はありません。

オートオフ機能

- ① 電源を入れます。
- ② 【MODE】ボタンを長押しします。
- ③ 【OFF】(出荷時)が5秒間表示されます。その間に【◀▶】または【▶▶】ボタンで時間を選択します。
※操作が5秒を過ぎると、元の画面に戻ります。
【30分】・【60分】・【90分】・【120分】・【OFF(設定しない)】の5段階が選択できますので、好きな時間で【決定】ボタンを押してください。
- ④ LCD表示画面に【⏸】が表示され、完了です。



ファイル削除

- ① 電源を入れます。
- ② ファイルを再生中に【取消】ボタンを押します。【取消】表示は5秒間点滅します。
- ③ 【取消】表示が点滅中に【決定】ボタンを押します。
※操作が5秒を過ぎると、元の画面に戻ります。
- ④ 再生中のファイルが削除されます。フォルダ毎または一括削除はできません。



お好みボタン

- ラジオの放送局をお好みボタンに登録します。天面のお好みボタン【1】～【5】のいずれかを長押しすると、現在選択された局が登録できます。(上書き方式)
※受信場所が変わったら、登録を更新してください。



リピート機能

- ① 再生中に天面のお好みボタン【5/↻】を長押しする度、LCD画面の【↻】が(1)非表示、(2)ピクト表示、(3)ピクト点滅の3通りで繰り返し表示されます。



- ↻ 非表示：リピートしません。
- ↻ 点灯表示：ファイル全てをリピートします。
- ↻ 点滅表示：1曲(1タイトル)のみリピートします。



- ② リピートを解除する場合はお好みボタン【5】を長押しし、【↻(リピート)】を非表示にしてください。

故障かな?と思ったとき

症状	要因の可能性	対応方法
電源が入らない	乾電池が消耗している	先ず、新しい乾電池に交換してみてください。
電源が入り難い		
聞いていると突然切れる	オートオフ設定をしてないか確認する	(LCD画面に【X】が表示されていませんか?)
LCD画面がおかしい 音量を上げると誤動作する 音量が上がらなくなる 録音操作時に誤動作する	乾電池が消耗している	先ず、新しい乾電池に交換してみてください。
イヤホンの音が途切れる	イヤホンプラグの挿入不足	イヤホンプラグをカチッと音がするまで奥に挿しなおす
イヤホンの音が片方のみ		
FMラジオのノイズが目立つ	イヤホンを挿入してない	イヤホンを端子に挿入する
録音できない	micro SDカードが挿入されていない	micro SDカードを購入して装着する
	micro SDカードがフルになっている	新しいmicro SDカードと交換する又は不要なファイルを削除する
	micro SDカードが破損している	新しいmicro SDカードと交換する
録音が途中で止まる	乾電池が消耗している	先ず、新しい乾電池に交換してみてください。
ラジオの感度が悪い	受信電波が弱い	外や窓際などで受信してみる
録音中にLCD画面の【録音】が消える	micro SDカードがフルになっている	新しいmicro SDカードと交換する又は不要なファイルを削除する
	micro SDカードが破損している	新しいmicro SDカードと交換する
	乾電池が消耗している	新しい乾電池に交換する

主な仕様

電源	DC4.5V 単4形乾電池×3本(別売り) 2次電池(繰り返し充電して使う電池)も使用できます。	
受信周波数	FM: 76~108MHz AM: 522~1710kHz	
乾電池の連続持続時間(JEITA基準に準拠して測定)	イヤホン使用時	FM受信/AM受信: 約20時間 micro SDカード再生: 約14時間
	内蔵スピーカー使用時	FM受信/AM受信: 約17時間 micro SDカード再生: 約12時間
	micro SDカード録音	ラジオ録音: 約9時間 マイク録音: 約15時間 LINE録音時間: 約11時間
ファイル形式	MP3/再生: 8~320kbps, 録音: 128kbps	
ファイル/フォルダー数	最大9999ファイル/9999フォルダー数	
録音ファイル形式	①ラジオ録音: RADXXX.MP3 ②マイク録音: MICXXX.MP3 ③LINE録音: LINEXX.MP3	
録音可能なファイル数	①ラジオ録音、②マイク録音、③LINE録音 合わせて最大999ファイル	
アンテナ	AM: 内蔵フェライトバーアンテナ FM: アンテナ兼用イヤホンコード	
スピーカー	φ30mm 8Ω 0.5W 1個	
対応メディア	micro SDHCカード 4GB~32GB	
外形寸法	幅56×高さ113×奥行17mm(突起物含まず)	
質量	約70g(乾電池含まず)	
付属品	ステレオイヤホン、イヤピース(Sサイズ・Lサイズ)、オーディオケーブル(1.2m)、取扱説明書(保証書付)	

- 乾電池はアルカリ乾電池使用時、音量は音量表示【U19】程度での連続使用時間です。(モードにより多少音量表示が変わります)
- 乾電池はメーカーや生産国などで持続時間に大きな差異が発生することがあります。
- スピーカーで聞くと、音量を大きくする傾向にあります。音量を上げると乾電池の持続時間が大幅に短くなります。